

教科 国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する。

【知識及び技能】 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標： 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
ことばと出会う／「言葉の森を育てよう」 【知識及び技能】 言葉が生まれる理由について本文をもとに考察を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 随想の特徴をとらえ、筆者の主張を正確に読み取る。 「言葉の森を育てよう」という題名の意味について、筆者の用いた比喻表現を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の雨に対する呼び名や日本語に多い表現を他にも探して紹介する。	・言葉についての筆者の考えを読み取り言葉が果たしている役割を理解する。 ・日常使っている言葉を見つめ直す。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト 【一人1台端末の活用】 語句の意味調べ、Formsの確認テスト				○	○	○	4	
表現を味わう／「とんかつ」 【知識及び技能】 本文中に方言が使われていることに興味を持ち、これまでに使ったり聞いたたりしたものを確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 この親子にとっての「とんかつ」を食べることに、どのような意味があるのかを考える。 登場人物、場所、季節を整理して場面を想像する。 【学びに向かう力、人間性等】 方言を使うことで、物語にどのような表現効果があるか興味を持ち、調べる。	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト 【一人1台端末の活用】 語句の意味調べ、Formsの確認テスト				○	○	○	6	
定期考査					○	○		1	
1学期 古文に親しむ／「いろは歌」 【知識及び技能】 本文を見て正しく音読し、暗唱する。 【思考力、判断力、表現力等】 いろはかるたやいろは坂などの例を踏まえて「いろは歌」の言語文化的意義を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 音読や暗唱に積極的に取り組む。	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト 【一人1台端末の活用】 古語の意味調べ、Formsの確認テスト	○	○		○	○	○	4	
古文に親しむ／「児のそら寝」 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解し、本文を正確に音読する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物たちのやり取りから、僧たちが児のそら寝にいつ気付いたかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に描かれる登場人物の行動から、現代との共通点や違いについて考える。	・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。 【教材】 授業用ワークシート、Powerpointスライド、小テスト 【一人1台端末の活用】 古語の意味調べ、Formsの確認テスト	○	○		○	○	○	8	
定期考査					○	○		1	

